



菅生学園報

第17号 2025年 新年号



理事長メッセージ



理事長
島田 幸成



昨年は能登の地震から始まり、日本航空の事故など、年始から大きな災害、事故がありました。本年も、未だ、ロシア、ウクライナ間の戦争、パレスチナの紛争などが続いていて、まだまだ不安定な幕開けです。今年こそは平穏な年になればと思います。また、学園にとって、そして、皆さんにとってもよい年であればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

さて、昨年、学園関係にとって大きなことは東海大総長松前達郎先生が亡くなられたことです。松前前総長は昨年9月8日に東海大八王子病院において、その生涯を閉じられました。享年97でした。その後、湘南キャンパスや代々木本部、付属高校中学などで献花が行われました。11月9日には菅生学園近くの西多摩霊園、望星塚にて納骨され、12月9日に菅生学園として理事長、副理事長をはじめ、学園管理職で望星塚にて、献花を行いました。

「井戸の水を飲もうとするものは、その井戸を掘った人のことを忘れるな」という言葉があります。私たちは、創立者松前重義博士の後を継ぎ、東海大学を発展させた松前達郎前総長を忘れてはいけません。

松前先生は東北大学を卒業後日本電信電話公社に入社、そして、東海大教授などを歴任、その後、参議院議員として4期24年務め、科学技術振興のための科学技術基本法や環境基本法の制定などの法案成立にご尽力されました。議員活動を終えられ創設者松前重義博士の後継として、30年に渡り大学の2代目総長を務められました。92年には東海大建学50周年を迎え、海洋調査船「望星丸」を竣工、96年には、世界一周研修航海を実施されました。また、東海大、九州東海大、北海道東海大の統合、その後の学部の改組変更など、先頭に立って東海大学の改革を実施されました。「東海大学関係の教職員には、フロンティア精神を忘れずに、人間教育をさらに充実させて、難局に手を携えて立ち向かう覇気を持った若者を日本に、世界に送り出してほしい。」と半生を振り返りながら述べてられています。(著書「希望を星につなげ 我が人生」)この言葉に込められた松前先生の願いを我々はしっかり受け止め、東海大学グループの一員である、菅生学園を益々発展させることが我々の使命であると思っています。

松前達郎先生が眠る望星塚は本校からすぐの西多摩霊園にあります。そこには東海大創設者松前重義博士も眠ります。関係の皆さんには、是非、一度、参詣に行かれたらと思います。なお、現在は3代目の松前義昭総長が後を継ぎ、東海大学の発展にご尽力されています。



(1)第4回東京都・首都圏及び日本高等学校長訪中代表团

主催：中華人民共和国駐日本国大使館

= 「訪中代表团」に同行して =

大山 敏

昨年10月13日から20日まで、第4回東京都・首都圏及び日本高等学校長訪中代表团が、実施団体である日中新世紀からの要請を受けて、団長を務める本学園島田理事長のもとに、東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・大阪府・富山県より23名の校長・副校長・教頭が参加し、中華人民共和国四川省成都市及び北京市を訪問した。首都北京市以外の内陸部主要都市を訪れたのは今回が初めてで、これまでは北京市教育委員会が受入れ窓口となっていたが、今回から中国政府直轄の教育部中外人文交流センターが窓口となった。それゆえ、北京第二外国語学院成都附属中学（中国では幼小併設も含む中高一貫校を「中学」と称している）を舞台に、比較的成都市に近い国直轄の重慶市や、広州市、深圳市の各中学の校長たちと小グループに分かれて座談会を行うこともできた。

団長である島田理事長は、訪問先の5中学1大学で代表挨拶を行い、訪中団にとっても菅生学園にとっても基本理念となる、国際理解に基づく広い視野と多面的・多角的な見方・考え方を子どもたちに身に付けさせるための国際交流の必要性を強調した。その上で、駐中国日本国大使館の大使公邸レセプションホールで初となる、北京市内の中学と交流協定締結に他の2校と共に臨んだ。菅生学園が交流を始める北京中学はまだ歴史の浅い学校だが、インターナショナルディビジョンではアメリカをはじめ多くの海外大学に卒業生を進学させており、今年7月に修学旅行で来日する際に、本学園を訪れ、中等部や高校の生徒と交流する予定である。

中国側は日本の中学高校生が中国を修学旅行で訪ね、中国と中国人に対する認識を深めてもらうことを強く希望しており、かつて毎年度北京への修学旅行を実施していた菅生高等学校をはじめ本学園の児童・生徒が、中国を訪問して熱心に学校生活に励んでいる中国の児童・生徒と交流することが期待されるなど、今回の「訪中代表团」が得た大きな成果は、今後の学園経営に何らかの形で生かされることが望まれる。



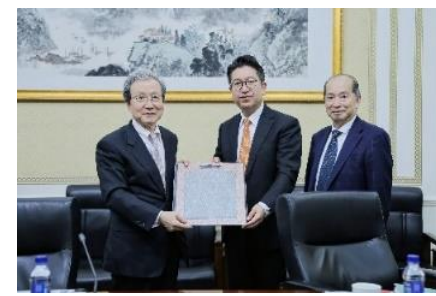
成都石室第二外国語学院付属中学にて



中国教育部
中外人文交流
センター主任
と



成都・深圳・重慶・
広州校長との座談会



元駐日大使程永華
中日友好協会常務
副会長と



成都石室中学校校長と



精華大学で日本語を
学ぶ学生と交流



日本大使館で
北京中学副校長と



北京師範大学付属
実験中学にて

学園トピック

(2)合唱de歡喜 「第九」コンサート

= 恒例の第九コンサート 初の全校種での参加 =

合唱de歡喜 演奏会 ベートーヴェン 交響曲第九番合唱付き
スタインウェイピアノ2台による フランツ・リスト2台ピアノ編曲版
12月21日(土) 秋川キララホール

指揮 村越 大春

第一部 ヴェルディ 歌劇『運命の力』より 序曲、『レクイエム』より レクイエムとキリエ・怒りの日

第二部 ピアノ2台によるリスト版 ベートーヴェン 交響曲第九番合唱付き

日本の年末と言えば第九という程有名なこの曲ですが、学生のうちに原語で歌える機会を得ることができるのはとても貴重な経験だと思います。今年は初等から13名の児童、中等から3名、高校生10名の児童生徒が出演し、高校の村越先生のご指導の下、初めて全校種での演奏参加が叶いました。

ソリストの方からも「8歳の子供から80代の大人までと一緒に第九を演奏できる環境と文化は本当に宝です。」とコメントをいただきました。毎年地域と菅生学園をつなぎ、時間をかけて素晴らしい演奏会をつくり上げている村越先生を始め実行委員会の皆様に感謝申し上げます。

菅生学園初等学校 下野 祐輔



学びの城のお正月



学びの城では新年を寿ぐ掲示があちこちにありました。菅生学園初等学校の児童による「今年も笑顔で挨拶を響かせよう」という決意表明もありました。

菅生学園初等学校・東海大学菅生高等学校中等部

校長メッセージ

=あけましておめでとうございます=



布村 浩二校長

昨年は、能登半島地震から始まり、災害について改めて考えさせられる年始となりました。本年は、世界が怪しくなってきたと感じる年始でした。児童・生徒が生きていくこれからの世界はどうなっていくのでしょうか。

上下両院を手中に収め、国民の期待を背負い、アメリカ第一を掲げた公約を実行する4年間をスタートさせるトランプ大統領。カナダを併合する、パナマ運河を取り戻す、グリーンランドを買収する、米大手銀行が温暖化の枠組みから撤退する、マクドナルドが多様性尊重の採用を廃止する、とニュースになっていました。

それだけでなく大国の動きが不安な時に、アメリカも時代に逆行するようなことになれば、日本にも大きな影響が出ます。子どもたちの今後の生き方に影響する可能性があるのではと憂慮しています。我々大人は、次代を担う子どもたちがウェルビーイングな世界を享受できる力をつけてあげることだと信じています。

菅生学園初等学校

トピック

マラソン大会開催

毎年恒例のマラソン大会が11月30日(土)に行われました。かなり気温が低い日でしたが、子どもたちはしっかりと走りきりました。校長先生から「自分との戦いだよ」と励まされ、どの子も持てる力を十分に出し切ったと思います。練習は一か月前から行われ、体育の授業のみならず、毎朝のウォーキングでもサッカー場を走り込みました。各学年の上位者には金銀銅のメダルも授与されました。

昨年は都立秋留台公園陸上競技場での実施でしたが、今年度は改修のため使用できず、校内での実施となりました。父母の会の全面的なバックアップもあり、大きな事故もなく終了することができました。皆様、ありがとうございます。



横田メンデル エレメンタリースクールとの交流

12月2日(月)と5日(木)の2日間にわたり横田メンデルエレメンタリースクールの児童約80人が来校し、本校児童との交流を楽しみました。交流内容は、日本の伝統的な遊びや学び(けん玉・デジタル福笑い・坊主めくり・書道など)の体験です。本校児童も英語を駆使して、一生懸命説明し、交流を深めていました。その後、給食も召し上がっていただき、大いに友情を育みました。



これに先立ち11月18日(月)には本校の5・6年生50人がYMESを訪問し、一緒にクラフトやスポーツ・ゲームなどで仲良くなっていました。今後も交流を続けていきたいと思えます。



活動報告

9/2	始業式・引き渡し訓練	9/30~	6年生三者面談	11/16	第2回入学試験
9/3	身体測定	10/9	TGG英語体験	11/17	東初協音楽祭
9/7	入試チャレンジ		(3・4年 立川)	11/23	東初協体育発表会
9/11	TGG英語体験 (5・6年 青海)	10/13	開校記念日	11/30	マラソン大会
9/14	授業参観	10/21~	6年生校長面談	12/6~	個人面談
9/21	スッガニアネイチャー	10/31	ハロウィーンディ	12/16	終業式
9/28, 29	菅生祭	11/1	第1回入学試験	12/17~19	スノースクール (2~4年 孺恋)
		11/13	全校遠足(御岳山)	12/21	スッガニアクリスマス

1~3月活動予定

1/7	始業式	2/8	入学児保護者会
1/8	身体測定・書初め大会	2/20	劇と音楽の会(羽村ゆとりぎホール)
1/11	もちつき大会	3/5	お別れ遠足(新江ノ島水族館)
1/17	英語検定	3/7~	個人面談
1/18	オープンスクール(給食試食会)	3/16	卒業式
1/25	漢字検定	3/17	修了式

トピック

特色ある広報イベント 「理科実験教室」

中部部の広報イベントにおいて特色ある企画といえば、「理科実験教室」があげられます。対象学年は5・6年生ですが、保護者や御兄弟も参加するなどたいへんアットホームな雰囲気の中で実験は行われています。

理科実験教室は担当の塚原先生が2013年度から始められ今日まで続いています。途中コロナ禍もあって実験内容の再検討など実施困難な時期もありましたが、先生方の多大な努力と繰り返し参加される小学生と保護者の熱意のおかげで12年目を迎えています。

今年の夏休みには「かんたん万華鏡」という実験内容で参加者を募集しましたが、「手作り万華鏡」を夏休みの自由研究作品と考えた小学生たちがたくさん参加してくれました。

また菅生祭期間には「廃油からキャンドルをつくろう」という実験内容で実施しましたが、特に自然環境に配慮したエコ的な取り組みは、参加者や見学者の皆様方から高い評価を頂くことへとつながりました。

次年度も参加者に十分満足をしていただける会となるよう、教職員、理科実験同好会のメンバー共になお一層励みたいと思います。



活動報告

9 / 2~6	北海道修学旅行	10 / 11	開校記念式典	11 / 18~19	後学期中間試験
9 / 14	学校説明会	10 / 23	芸術鑑賞教室②③	11 / 23	入試体験教室
9 / 25	スポーツ大会	10 / 25	生徒会役員選挙	11 / 27	警察講話(2、3学年)
9 / 28~29	菅生祭	10 / 31	郷土学習(1学年)	12 / 4	夢育て講座
10 / 1	学期更新式		校外学習(3学年)	12 / 14	入試体験教室
10 / 5	オープンスクール	11 / 2	学校説明会	12 / 20	音楽祭
10 / 8	校内主張大会	11 / 9	保護者会(1,2学年)	12 / 21	全校集会

活動予定

1 / 7	全校集会	2 / 11	入学準備説明会
1 / 10	GTEC②③	2 / 26~28	学年末試験
1 / 11	第5回学校説明会	3 / 8	理科実験教室
2 / 1	第1回入試(午前・午後)	3 / 11	野鳥観察会②, 卒業遠足③
2 / 2	第2回入試(午前・午後)	3 / 15	卒業式
2 / 4	第3回入試(午前)	3 / 17	修了式
2 / 6	第4回入試(午前)	3 / 26	新入生招集日
2 / 8	第5回入試(午前)		

東海大学菅生高等学校

校長メッセージ



峰岸 英仁校長

= 「have to」 よりも 「had better」 =

建学の精神に基づいて本校が目指していることを私は「一人ひとりが、調和のとれた考え方ができる賢さを身につけ、より良い文明社会をつくろう」と表現しています。最近、その重要性を実感しています。

この十数年のトレンドを象徴する言葉は、自由・平等・多様性・グローバル化・環境と言えます。しかし、それらが強調されるあまりに、例外が許されない雰囲気が強くなっています。平等を強調した結果、力の強い者が富み、逆に格差が拡大しています。多様性の過度な強調が、アメリカのメディアではメリークリスマスと言えなくなるなどの行き過ぎたポリティカルコレクトネスに繋がっています。このように、世界をより良くするためのムーブメントが逆に矛盾や不自由さ、そして息苦しさを感ずるようになってしまいました。「have to」よりも「had better」の考え方で進めた方が、より良い社会にはやく繋がるのだと思っています。

トピック

剣道部：剣道練習体験会

剣道部は12月1・7日に本校武道館にて練習体験会を開催しました。会には小学5年生から中学2生までの46名が集まりました。この時期は、大人への準備期間として大変貴重な時期であり、人格の基礎を築き将来の夢や希望を抱いて自分の可能性を伸展させる時期です。この体験会では、高校生の中に入り基本動作から試合で使える技などを学び自分達の目標達成のきっかけとなつてほしいです。みんながんばってくれたので、とても充実した練習会ができました。



岩田先生の研究授業（英語）

12月2日に岩田先生の研究授業が行われました。授業は1年8組 英語コミュニケーション11で、①リスニング・②新出単語学習・③リーディング・④本文の内容確認、これらをICTを活用して、それぞれ制限された時間内にテンポよく行われていました。生徒はどの学習についても集中して取り組んでいました。①は教科書の文の音声を聞き、生徒はその問いにGoogle Formで回答②は新出単語の発音練習の後にクイズサイト「kahoot」に入って問いに回答③はPocket Speakingに入り発音しそれを送信④は宿題のCheck up! と Sum up! の答え合わせを行っていました。



吹奏楽部：横浜市長賞(1位)を受賞

11月9日に開催された第26回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜において横浜市長賞(1位)を受賞しました。第30回日本管楽合奏コンテストにおいて最優秀グランプリ賞並びに文部科学大臣賞を受賞しました



合唱部：J-POPコンサート開催・市民文化祭出演

11月3日(日) 午前にイオンモール日の出にて開催された「パフォーマンスアートひので」にてJ-POPコンサートを行い、午後には『あきる野市民文化祭 合唱祭』に出演いたしました。2公演とも良い演奏となりました。



活動報告

9/14	第2回学校説明会	10/11	開校記念式典	11/16	第6回学校説明会
9/25	体育祭	10/22~25	定期考査C	11/23	第7回学校説明会
9/28~29	菅生祭	10/26	第4回学校説明会	11/25~29	修学旅行(沖縄)
10/5	第3回学校説明会	11/2	第5回学校説明会	11/30	帰国子女入試
				12/17~20	定期考査D

活動予定

1/7	全校集会	2/10	第1回入学試験	2/22	一般入試合格者手続き
1/22	推薦入試	2/11	第2回一般入試	3/7	卒業式
1/25	推薦入試手続き	2/15	第3回一般入試	3/9	新入生登校日
				3/17	修了式

菅生 STEAMチャレンジ (11)

STEAM教育 ⇒S(Science 科学)、T(Technology 技術)、E(Engineering 工学)、A(Art 芸術)、M(Mathematics 数学)
このコラムでは、菅生学園の各園・校が取り組む様々な特徴あるSTEAM教育をご紹介します。

東海大学菅生高等学校中等部のキャリア教育 『夢育て講座』

『夢育て講座』は中等部の特色あるキャリア教育の1つで、アントレプレナーシップを培い、積極的に将来について考え、職業観の芽を育むことを目的としています。毎年様々な職業の方をお招きして、職業や体験についての話を聞いています。

今年は12月4日にコロナ禍後の完全復活開催となり、3年生全員対象の講座、1・2年生全員対象の講座とともに、全9講座から2講座を選択受講できました。

3年生対象の全体講演はおおたとしまささんによるフリージャーナリストの実態と存在意義についてお聞きしました。また、1・2年生対象の全体講演では江藤真規さんが、アンコンシャスバイアスについて、生徒のグループ討議も交えながらお話しくださいました。

その後、プロボクサー、国家公務員、弁護士、コンビニ運営会社員、ロボット工学者、旅行会社員、医師、キャビンアテンダント、起業家から、希望する2講座を選択したそれぞれの生徒は、興味深いお話をたくさん伺うことができました。

STEAM関連の講座もあり、医療関係で東海大学医学部付属八王子病院事務部次長兼健康管理センター事務長が話を下され、医難コースの生徒にとっては多にに興味関心を持つ講座だったようです。ロボット工学についての講座もあり、STEAM教育を受けている中等部生たちにとって関心の高い講座となりました。

今回は、布村校長先生の前任校での教え子の方たちのご協力もいただき、経済産業省や日本を代表する弁護士事務所の弁護士のお話をうかがうことができました。

中等部生が自らの将来について幅広く考えるきっかけとなり、また、学びのモチベーションになったようでした。



西多摩経済新聞のWebサイトでも紹介されました。

菅生のひとこま (11)

「菅生のひとこま」では菅生学園のさまざまな場所をご紹介します。

学びの城の美術展・特別企画『造形作家・友永詔三 ～人形と仲間たち』 開催決定

学びの城のシンボルである『森の調べ』の制作者友永詔三さんの展覧会が学びの城で行われることになりました。展示されるのは、NHK連続人形劇『プリンプリン物語』の人形をはじめ、新作人形や木彫作品などです。会期は今年3月を予定しており、会期中には友永詔三さんによるギャラリートークも予定されています。詳細が決まりましたら皆さんにお知らせします。



『森の調べ』



学園所蔵の作品

『プリンプリン物語』

1979(昭和54)年からの3年間、月～金曜日午後6時台の人形劇シリーズ枠で放送された。同じ枠で大人気だった人形劇『新八大伝』で脚本を担当した放送作家・石山透によるオリジナル脚本。『ひょっこりひょうたん島』(1964～1969年)の流れを継ぐミュージカル・スタイルの演出で数々の挿入歌が作られ、現代的なシルエットの人形とポップな衣装デザインが人気をよんだ。
NHK放送史 より

※ 2003年と2017年に再放送され、現在もNHK Eテレで毎週月曜日22:50～23:20、火曜日13:10～13:40に再放送されています。

父母会・同窓会長新年メッセージ

菅生学園初等学校



菅生学園初等学校
父母の会
藤本 聖会長

新年明けましておめでとうございます。
初等学校は2007年に開校し、今年度で18年目となります。その間、菅生学園の中高各校には多大なるご協力を賜りましたことにまずは厚く御礼申しあげます。これまで父母の会の活動を支援していただきました学園、教職員、歴代役員の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。

さて、ここ数年会員数も増え、父母の会の活動は大変活発になってまいりました。5月の運動会は昨年より完全通常開催となり、受付や駐車場の整理・誘導、子ども達の水分補給等でお手伝いさせていただきました。また、マラソン大会は都立秋留台公園陸上競技場の改修のため校内での実施となりましたが、子どもたちが安全に走れるよう父母の会としても最大限のサポートをいたしました。保護者も良い思い出がまた一つできました。

例年の餅つき大会も1月11日に行われました。臼も一つ増え、今年は3台フル稼働しました。これまた子どもたちの思い出づくりの一助となれば幸いです。活動内容は今後とも広報誌「えがおのすがお」で年5回のペースでお知らせいたします。

これからも学校法人菅生学園の一員として、その一翼を担っていただけるよう学園の事業に奉仕してまいります。旧倍のご支援ご協力を賜りますようお願い申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

東海大学菅生高等学校・中等部



菅生高等学校・中等部
父母の会
峰村眞美会長

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、保護者の皆様をはじめ、学園関係者の皆様の多大なるご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

父母の会の活動として、研修委員会では研修バス旅行や、菅生祭での講演会を開催しました。また、行事委員会では中等部スポーツ大会での飲料提供、高校体育祭での手指消毒活動や給水活動を実施、菅生祭では物販やゲームで多くの来場者に楽しんでいただきました。広報委員会では部活動や学校行事での撮影を行い、広報誌やデジタル広報を通じて皆様に活動をご紹介しました。お陰様で、多くの生徒が学び、成長する場として充実した一年を過ごす一助を担うことができました。

本年も、東海大学菅生高等学校・中等部が更なる発展を遂げるために、引き続き奉仕してまいります。皆様におかれましても、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって健康で実り多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

東海大学菅生高等学校同窓会 菅生川蝉会



菅生川蝉会
青木 龍太会長（3期生）

菅生川蝉会を代表し、菅生学園の皆様へ新年のご挨拶を申し上げます。

2018年の設立準備を経て、2024年5月に初代会長の渡邊弘行さんから会長を引き継ぎました。この間、同窓会が主催する新年交歓会や新成人を祝う会において、各界で活躍する卒業生の皆様のご協力を得て、会を盛り上げることができました。今後も菅生高校のさらなる発展に寄与し、卒業生や会員総数18,000人を超える菅生の絆を深めるための活動に邁進してまいります。また、菅生マップ作りにも引き続き力を入れていく所存です。

2025年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心より願っております。

編集後記



明けましておめでとうございます。旧年中は広報紙制作に関して大変お世話になり、ありがとうございました。本年も皆さまのご協力を得て、新年号を発行することができました。

今年の干支は「乙巳」。変化の年と言われているそうです。世界も、日本も、学校を取り巻く環境も変化のスピードが速い昨今。今年も良い変化を起こせるよう、がんばっていききたいものです。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2025年1月 編集・発行 菅生学園法人本部 ご意見・ご質問はこちらへ 編集担当：高橋 真実